

大阪市立豊新小学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校教育目標

- ◇豊かな心をもち、めあてをもって、意欲的に学ぶ子どもを育てる
- ・たくましい身体になる子ども
 - ・ゆたかな心をもつ子ども
 - ・よく考える子ども

1 学校運営の中期目標（平成 25 年度から平成 27 年度の 3 ヶ年）

現状と課題

児童は全般的に素直で明るく、元気よくあいさつができている。また、学習にもまじめに取り組んでおり、特に体験的な学習を好んでいる。また、学校行事、委員会活動やクラブ活動にも積極的に取り組めている。しかしながら、全国学力学習状況調査の結果では、国語 A ・ B 、算数 A ・ B 全てにおいて全国平均正答率を下回っており、また、一部児童に学習規律をきちんと守れないなど、問題行動も見られる。地域・保護者は学校の教育活動に好意的で、多大なる支援・協力を得ることができる。

そこで、基礎・基本的な知識や技能の確実な定着を目指し、反復学習や体験的な学習、協働的な学習を多く取り入れるなど、教科指導法の工夫が必要である。さらに、学校図書館や地域ボランティアを効果的に活用した読書活動の推進、国語科を中心とした全ての教科において言語活動を多く取り入れた授業の展開、児童が自己肯定感や自尊感情が高められるような取組の充実が課題と考える。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 学習理解度到達診断「しんだん」における正答率 6 割以上の児童の割合を、全学年で前年度割合より増加させる。(カリキュラム改革関連)
- 言語力や論理的思考能力の育成のため、重点教科で 6 年間を見通した言語活動の充実を図る実践的な指導計画を作成する。(カリキュラム改革関連)
- 英語教育の強化を図るため、年度ごとに順次指導学年を拡大する。(グローバル化改革関連)
- I C T を効果的に活用した授業の充実を図る。(グローバル化改革関連)
- 授業研究を伴う校内研修の充実を図る。(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90% 以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 80% 以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（演劇・音楽鑑賞・古典伝統芸能）を実施する。(カリキュラム改革関連)

○避難訓練（防災教育）を毎学期に実施し、また高学年においては安全（防犯）教育も実施する。（グローバル化改革関連）

○教師力の向上に向けた研修ならびに研究の推進をする。（マネジメント改革関連）

○産業界との連携と学習資源の有効活用をする。（学校サポート改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、毎年、前年度と比べて3種目以上上回る。（カリキュラム改革関連）

○学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を70%以上にする。（カリキュラム改革関連）

○学校アンケートによる「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。（カリキュラム改革関連）

○学校アンケートによる「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。（カリキュラム改革関連）

○安全、安心、良好な教育環境の確保を図る。（マネジメント改革関連）

【視点 特別支援教育の充実】

○障がいのある全ての子どもに対して「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、個別の指導計画に基づき指導します。（カリキュラム改革関連）

○障がいのある子と通常学級の子どもの協働に成長する教育を推進する。（カリキュラム改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 学習理解度到達診断「しんだん」における正答率6割以上の児童の割合を、全学年で前年度割合より増加させる。(カリキュラム改革関連)
- 言語活動の充実を図る授業づくりに向けた基礎研究を行う。(カリキュラム改革関連)
- 英語教育の強化を図るため、4年での指導を実施する。(グローバル化改革関連)
- ICTを効果的に活用した指導法の研究を行う。(グローバル化改革関連)
- 全教員が一人1回以上の授業研究を行い、内、3回は全体研修会を実施する。(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を70%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 心豊かな子どもの育成のため、音楽鑑賞行事を実施する。
- 避難訓練(防災教育)を毎学期に実施し、また高学年においては安全(防犯)教育も実施する。(グローバル化改革関連)
- 問題行動(生活指導)対応、いじめに関する研修を実施する。(マネジメント改革関連)
- ゲストティーチャーを招いての職業講話を高学年に実施する。(学校サポート改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全国平均を大きく下回っている「20mシャトルラン」、「立ち幅跳び」及び「反復横跳び」の結果を昨年度平均より上回る。(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を60%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を85%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートによる「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を75%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 毎月1回安全点検日を設け、修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善を行う。(マネジメント改革関連)

【視点 特別支援教育の充実】

- 障がいのある全ての子どもの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、個別の指導計画に基づき指導する。(カリキュラム改革関連)
- 障がいのある子と通常学級の子どもの交流および共同学習を推進する。(カリキュラム改革関連)